

## 令和3年度

## 事業報告書

特定非営利活動法人がんサポートコミュニティ

### 1 事業の成果

#### (1) 心理社会的支援活動事業

##### (ア) サポート事業

同じような境遇にあるがん患者同士が出会い、語り合うことで不安や悩みを解消したり、“自分らしい”生き方を取り戻すことを目的として、発症部位別の大腸がんサポートグループ、また男女区別なくがんが発症した患者のためのサポートグループや乳腺・子宮・卵巣といった女性特有の部位にがんが発症した患者のための女性サポートグループ、さらに近年話題となっている就労しているがん患者を対象としたサポートグループを編成、さらに出張サポートグループとして柏市の協賛を得た柏サポートグループと大阪マラソンの寄附金による大阪サポートグループを企画し、看護師、社会福祉士及び臨床心理士といった専門家によってファシリテートされるグループ療法を提供した。各グループは月1～2回、年間80回開催し、延べ278人ものがん患者及び家族に対しグループ療法を提供した。サポートグループを開催するにあたり、参加者のマスク着用、入室時の検温とアルコール手指消毒の徹底、窓開けによる常時換気と空間清浄機の併用による感染症対策を講じ、開催時間を30分短縮、1回60分として提供した。

なお、令和2年頭から新型コロナウイルス感染症が世界的にまん延するなか、わが国では令和3年度も4月25日（日）～6月20日（日）／7月12日（月）～9月28日（火）の期間に緊急事態宣言が発出されたため、同期間のFace-to-Faceでの事業を中止し、代替策として令和2年度から開始したZoomを活用した「オンラインカフェ」を毎月1回、年間9回開催し、延べ40人のがん患者にオンラインでの対話機会を提供した。

##### (イ) 医療相談事業

外科および緩和ケアを専門とする医師2人による医療相談を毎週水曜日に開催し、がん患者及び家族8人に対して対面／電話でアドバイスを行った。

なお、令和2年頭から新型コロナウイルス感染症が世界的にまん延するなか、わが国では令和3年度も4月25日（日）～6月20日（日）／7月12日（月）～9月28日（火）の期間に緊急事態宣言が発出されたため、同期間の医療相談は無料の電話相談として提供した。

#### (2) 技術的支援活動事業

##### (ア) リラクゼーション事業

がん患者及び家族を対象として、①自律訓練法講座を月2回、計11回開催、延べ13人が参加、②ヨーガ講座を月2回、計14回開催、延べ65人が参加、③アロマセラピー講座を令和3年12月から月1回、計4回開催、延べ7人が参加、④コーラス講座(いきのちから合唱団)を月2回、計14回開催、延べ187人が参加、3種の講座合計43回開催、延べ272人のがん患者及び家族に対し提供した。

なお、令和2年頭から新型コロナウイルス感染症が世界的にまん延するなか、わが国では令和3年

度も4月25日(日)～6月20日(日)／7月12日(月)～9月28日(火)の期間に緊急事態宣言が発出されたため、同期間のFace-to-Faceでの事業を中止した。

### (3) 普及啓発活動事業

#### (ア) 講演会

がん患者及び家族、市民に対し、がんに関する意識・知識の向上を目的とした第19回ペイシェント・アクティブ・フォーラムを録画収録し公式ホームページでオンデマンド無料配信する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響で収録を断念し中止した。

#### (イ) 市民向けセミナー：第11回がんを学ぶセミナーTOKYO

関東圏在住のがん患者とそのご家族に対するがんに関する意識・知識の向上を目的にセミナーを令和4年2月5日(土)にがんサポートコミュニティー(東京)にて開催、新型コロナウイルス感染症対策として常時換気、空間清浄機の設置、人数制限をしたなかで、対面とZoomによるオンラインとのハイブリッド開催とし、対面4人とオンライン3人の計12人が参加した。がんを自ら体験した薬剤師でありキャリアコンサルタントでもある[ ]を講師に招いて「あなたの「働きたい」を支えたい」をテーマに講演いただいた。

#### (ウ) 令和3年度豊島区がん対策推進特別講演会&合唱団いきのちからコンサート2021

豊島区と小児がん対策国民会議と共催し、がん患者及び家族、市民に対し、がんに関する意識・知識の向上を目的とした豊島区主催の「令和3年度豊島区がん対策推進特別講演会」とがんサポートコミュニティー主催の「がん患者が歌う合唱団いきのちからコンサート2021」をジョイントさせ、令和3年12月20日(月)に南大塚ホール(東京)にて池袋保健所の指導のもと感染症対策を講じて開催、89人が参加した。令和3年度豊島区がん対策推進特別講演会では講師に[ ]に「ライフステージに応じてがんに向き合う～小児・AYA世代から高齢者まで～」をテーマに講演いただいた。合唱団いきのちからコンサート2021ではがん体験者14人がソプラノ/アルト/テノール/バスに分かれ、春に/わたしは月にはいかないだろう/Yesterday/世界に一つだけの花/The Rose～愛は花、君はその種子/Joy to the world～もろびとこぞりて/あら野のはてに/Silent Night～聖夜の全8曲を合唱した。加えてイベントを録画収録し公式ホームページでオンデマンド無料配信予定である。

#### (エ) 教育研修事業

将来サポート事業ならびに地域におけるサポート活動を担う人材育成のために、「ファシリテーター研修プログラム」を開発し、エーザイ株式会社との共催により令和4年1月8日(土)～9日(日)にエーザイ東京コミュニケーションオフィス(東京)で実施予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止した。

#### (オ) 大阪マラソン

ランナーがそれぞれ選択したテーマに500円ずつ寄付するチャリティマラソンとして令和2年11月29日(日)に開催予定だった第10回大阪マラソンが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった。そのため、令和4年2月27日(日)に第10回大阪マラソン・第77回びわ湖毎日マラソン統合大会として再度予定されましたが、新型コロナウイルス感染症の影響でエリートランナーのみの参加となり、チャリティランナーの参加が見送られた。2月25日(金)～26日(土)にインテック大阪で開催予定だったEXPO2021も中止となり、ランナー3万人2,000人を含む5万

5,000 人に対する「がんにならない、がんになっても自分らしく生きる社会」をめざした、がん検診受診と大阪サポートグループの認知向上の普及啓発活動も実施できなかった。

(カ) 説明会

がん患者及び家族に対して、がんサポートコミュニティの活動事業を紹介するために毎週金曜日に開催した。8 回開催し、12 組が参加した。

(キ) がんサポ通信

がん患者及び家族、市民に対して、がんサポートコミュニティの活動事業を紹介するために年 2 回発行、1 回あたり 2,000 部を配布予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響でがん患者とその家族との交流機会と情報発信の頻度を高くするために News Letter として毎月 1 回発行、配布した。

(4) 調査研究及び情報交換事業

(ア) 患者交流事業

①第 4 回とわの会：令和 2 年 10 月 16 日(土)に事務所においてサポート事業に参加していた患者が亡くなり、その遺族に対するプログラムとして第 4 回とわの会を開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止した。

(ウ) がん対策の15年を振り返るワーキンググループ

がん対策基本法成立から 15 年が経ったことを受けて、医療者、患者団体リーダー、政策研究者及び関連企業と協働し、がん対策のこれまでの 15 年を振り返る検証とこれからの 15 年に向けた提言を「がん対策白書」としてとりまとめ、令和 4 年 3 月 1 日に発刊した。

(ウ) その他

第一三共と劇団四季が主催する「家族のきずなシアター」に後援し、がん患者及び家族 125 組 500 人を招待し劇団四季ミュージカル「ライオンキング」を四季劇場 [夏] (東京) にて観劇予定だったが、4 月 20 日 (火) に新型コロナウイルス感染症の影響で中止を決定した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【 20,983 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
心理社会的支援活動事業	サポート事業：患者及び家族に対して部位別・状況別の各種サポートグループを新型コロナウイルス感染症対策で時短して毎月 1～2 回運営。	日曜祝祭日を除く 毎日	事務所	11 人	が ん 患 者・家族	270 人	11,992
	新型コロナウイルス感染症対策として Zoom を活用した「オンラインカフェ」を実施。	毎月 1 回	事務所	6 人	が ん 患 者	40 人	
	医療相談事業：患者及び家族に対し複数の医師による医療相談を希望に応じて対面/電話で実施。	原則として水曜日	事務所	2 人	が ん 患 者・家族	8 人	

技術的 支援活動事業	リラクゼーション事業:患者及び家族に対するヨーガの指導は新型コロナウイルス感染症対策のため人数制限して実施。	原則 第1・3 木曜日	事務所	1人	がん患者・家族、 市民	65人	2,679
	リラクゼーション事業:患者及び家族に対するアロマセラピーの指導は新型コロナウイルス感染症の影響で中止。	原則 第3 金曜日	事務所	1人	がん患者・家族、 市民	7人	
	リラクゼーション事業:患者及び家族に対する自律訓練法は新型コロナウイルス感染症対策を講じて指導を実施。	原則 第1・2 火曜日	事務所	1人	がん患者・家族、 市民	13人	
	リラクゼーション事業:患者及び家族に対するコーラスの指導は新型コロナウイルス感染症対策のため人数制限して実施。	原則 第1・3 月曜日	南大塚地域 文化創造館	4人	がん患者・家族	187人	
	新型コロナウイルス感染症対策としてYouTubeを活用した「おうちで簡単ヨーガ」としてヨーガ講座の動画を配信。	随時	事務所	3人	がん患者・家族	3,504人	
	新型コロナウイルス感染症対策としてYouTubeを活用した音楽療法講座の動画を配信。	随時	事務所	3人	がん患者・家族	331人	
普及啓発 活動事業	市民啓発を目的とした講演会「第19回ペイシエント・アクティブ・フォーラム」は新型コロナウイルス感染症の営業で中止。	オンデマンド 配信	配信	0人	がんに関 心のある 一般市民	0人	4,257
	市民啓発を目的とした「第11回がんを学ぶセミナーTOKYO」を新型コロナウイルス感染症対策して対面とオンラインとハイブリッド開催。	2月5日	事務所	3人	関東圏の がん患者・家族、 市民	7人	
	「令和3年度豊島区がん対策推進特別講演会&合唱団いきのちからコンサート」を新型コロナウイルス感染症対策のため人数制限して開催。	12月20日	南大塚ホール	12人	がん患者・家族、 市民	89人	
	「令和3年度豊島区がん対策推進特別講演会&合唱団いきのちからコンサート」を令和4年度オンデマンド無料配信予定。	オンデマンド 配信	事務所	4人	がん患者・家族、 市民	0人	
	関東圏の専門家を対象に後進の育成を目的とした「ファシリテーター研修」は新型コロナウイルス感染症の影響で中止。	1月8日 ~9日	エーザイ 東京コミュニ ケーション オフィス	0人	関東圏の がん専門 相談員	0人	

普及啓発活動事業	広く市民に対するがん啓発を目的とした「大阪マラソン EXPO」は新型コロナウイルス感染症の影響で中止。	2月25日 ～26日	インテックス 大阪	0人	市民	0人	
	がん患者及び家族に対して活動紹介を目的とした「説明会」を開催。	原則として金曜日	事務所	4人	がん患者・家族	12人	
	広く市民に対する活動紹介として「がんサポ通信」発行は新型コロナウイルス感染症の影響で中止、「News Letter」を発行。	毎月1日	事務所	10人	がん患者・家族、市民	4,000人	
	広く市民に対するがん啓発を目的とした「がん患者支援アプリ CAN.」を開発、運営。	随時	事務所	3人	がん患者・家族、市民	1,300人	
	がん患者及び家族に対して関係図書を頒布。	随時	事務所	2人	がん患者・家族	300人	
調査研究及び情報交換事業	患者交流事業：がん患者の遺族と交流する「とわの会」は新型コロナウイルス感染症の影響で中止。	10月16日	事務所	0人	遺族	0人	2,055
	がん対策の15年を振り返るワーキンググループ：市民レベルで「がん対策白書」を制作し発刊	4月1日 ～3月1日	事務所	11人	がん患者・家族、市民	1,000人	
	その他：患者及び家族に対し家族の絆を深める「家族のきずなシアター」は新型コロナウイルス感染症の影響で中止。		四季劇場 [夏]	0人	がん患者・家族	0人	

## (2) その他の事業

(事業費の総費用【           】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	事業費(千円)
	該当なし				

令和3年度 活動計算書 (その他事業がない場合)

特定非営利活動法人がんサポートコミュニティ

(単位:円)

科 目	金 額	小計・合計
<b>(A) 経常収益</b>		
1 受取会費		7,690,000
正会員受取会費	100,000	
賛助会員受取会費	7,590,000	
2 受取寄附金		22,773,430
受取寄附金	22,773,430	
3 受取助成金等		386,000
受取協賛金	200,000	
受取受託金	186,000	
4 事業収益		332,500
心理社会的支援活動事業収益	50,000	
技術的支援活動事業収益	282,500	
5 その他の収益		1,424,481
受取利息	521	
雑収入	1,423,960	
<b>経常収益計</b>		<b>32,606,411</b>
<b>(B) 経常費用</b>		
1 事業費		13,747,548
(1) 人件費		
給料手当	7,893,760	
特別手当	1,720,000	
法定福利費	1,145,688	
中退共保険料	456,000	
サポーター費用	1,568,500	
外注費	963,600	
(2) その他経費		7,235,501
広報活動費	1,067,917	
旅費交通費	828,690	
通信費	392,890	
消耗品費	262,644	
事務用品費	564,580	
新聞図書費	132,000	
会議費	1,380	
家賃	3,326,400	
水道光熱費	178,955	
会場使用料	99,180	
支払手数料	265,292	
減価償却費	115,573	
<b>事業費計</b>		<b>20,983,049</b>
2 管理費		2,337,073
(1) 人件費		
給料手当	1,601,600	
特別手当	325,000	
法定福利費	266,473	
福利厚生費	120,000	
中退共保険料	24,000	
(2) その他経費		1,343,368
旅費交通費	102,480	
交際費	2,900	
通信費	3,639	
租税公課	2,400	
消耗品費	104,551	
事務用品費	101,000	
諸会費	10,000	
会議費	3,000	
家賃	369,600	
水道光熱費	19,883	
保険料	23,040	
リース料	563,472	
支払手数料	5,273	
減価償却費	32,130	
<b>管理費計</b>		<b>3,680,441</b>
<b>経常費用計</b>		<b>24,663,490</b>
<b>当期経常増減額 (A) - (B) ... ①</b>		<b>7,942,921</b>
<b>(C) 経常外収益</b>		
固定資産売却益	0	
過年度損益修正益	0	
<b>経常外収益計</b>		<b>0</b>
<b>(D) 経常外費用</b>		
固定資産売却損	0	
災害損失	0	
過年度損益修正損	0	
<b>経常外費用計</b>		<b>0</b>
<b>当期経常外増減額 (C) - (D) ... ②</b>		<b>0</b>
<b>税引前当期正味財産増減額 ①+② ... ③</b>		<b>7,942,921</b>
法人税、住民税及び事業税 ... ④		
前期繰越正味財産額 ... ⑤		56,407,321
<b>次期繰越正味財産額 ③-④+⑤</b>		<b>64,350,242</b>

## 令和3年度 貸借対照表

特定非営利活動法人がんサポートコミュニティ

科	目	金額	小計・合計
<b>【A】</b>	<b>資産の部</b>		
1	流動資産		
	現金預金	64,269,076	64,269,076
	流動資産合計・・・①		64,269,076
2	固定資産		
	(1)有形固定資産 工具器具備品	234,625	234,625
	(2)無形固定資産 電話加入権	42,840	42,840
	(3)投資その他の資産 敷金	562,800	562,800
	固定資産合計・・・②		840,265
<b>【A】</b>	<b>資産合計 ①+②</b>		65,109,341
<b>【B-1】</b>	<b>負債の部</b>		
1	流動負債		
	預り金	174,449	759,099
	未払金	584,650	
	流動負債合計・・・③		759,099
2	固定負債		
	固定負債合計・・・④		0
	負債合計 ③+④		759,099
<b>【B-2】</b>	<b>正味財産の部</b>		
	前期繰越正味財産額	56,407,321	
	当期正味財産増減額	7,942,921	
	正味財産合計		64,350,242
<b>【B】</b>	<b>負債及び正味財産合計 【B-1】+【B-2】</b>		65,109,341

## 令和3年度 計算書類の注記

## 事業報告用

特定非営利活動法人がんサポートコミュニティー

## 1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2017年12月12日一部改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

## (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

該当なし

## (2) 固定資産の減価償却の方法

工具器具備品の減価償却は定額法によっています。

## (3) 引当金の計上基準

該当なし

## (4) 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理

施設の提供等の物的サービスの受入れは、活動報告書に計上しています。

また計上額の算定方法は「3.施設の提供等の物的サービスの受入の内訳」に記載しています。

## (5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

## 2. 事業別損益の状況

(単位:円)

科目	心理社会的 支援活動事業	技術的支援 活動事業	普及啓発 活動事業	調査研究及び 情報交換事業	事業部門計	管理部門	合計
<b>I 経常収益</b>							
1. 受取会費					0	100,000	100,000
正会員会費							
賛助会員会費	4,098,600	683,100	1,366,200	683,100	6,831,000	759,000	7,590,000
2. 受取寄附金	12,297,651	2,049,609	4,099,218	2,049,609	20,496,087	2,277,343	22,773,430
3. 受取協賛金			200,000		200,000	0	200,000
受取受託金			186,000		186,000	0	186,000
4 事業収益	50,000	282,500			332,500	0	332,500
5 その他の収益	769,220	128,203	256,407	128,203	1,282,033	142,448	1,424,481
経常収益計	17,215,471	3,143,412	6,107,825	2,860,912	29,327,620	3,278,791	32,606,411
<b>II 経常費用</b>							
(1) 人件費							
給料手当	4,736,256	789,376	1,578,752	789,376	7,893,760	1,601,600	9,495,360
特別手当	1,032,000	172,000	344,000	172,000	1,720,000	325,000	2,045,000
法定福利費	687,413	114,569	229,137	114,569	1,145,688	266,473	1,412,161
福利厚生費	0	0	0	0	0	120,000	120,000
外注費	578,160	96,360	192,720	96,360	963,600	0	963,600
中退共保険料	273,600	45,600	91,200	45,600	456,000	24,000	480,000
サポーター費用	872,500	676,000	20,000	0	1,568,500	0	1,568,500
人件費計	8,179,929	1,893,905	2,455,809	1,217,905	13,747,548	2,337,073	16,084,621
(2) その他経費							
広報活動費用	144,100	24,017	598,033	301,767	1,067,917	0	1,067,917
旅費交通費	439,256	217,896	158,302	13,236	828,690	102,480	931,170
交際接待費					0	2,900	2,900
通信費	235,734	39,289	78,578	39,289	392,890	3,639	396,529
租税公課					0	2,400	2,400
消耗品費	144,538	45,837	48,179	24,090	262,644	104,551	367,195
事務用品費	338,748	56,458	112,916	56,458	564,580	101,000	665,580
図書費	79,200	13,200	26,400	13,200	132,000	0	132,000
会議費			1,380		1,380	3,000	4,380
諸会費					0	10,000	10,000
家賃	1,995,840	332,640	665,280	332,640	3,326,400	369,600	3,696,000
水道光熱費	107,375	17,895	35,790	17,895	178,955	19,883	198,838
リース料					0	563,472	563,472
保険料					0	23,040	23,040
会場使用料	99,180				99,180	0	99,180
支払手数料	159,176	26,529	53,058	26,529	265,292	5,273	270,565
減価償却費	69,345	11,557	23,114	11,557	115,573	32,130	147,703
その他経費計	3,812,492	785,318	1,801,030	836,661	7,235,501	1,343,368	8,578,869
経常費用計	11,992,421	2,679,223	4,256,839	2,054,566	20,983,049	3,680,441	24,663,490
当期経常増減額	5,223,050	464,189	1,850,986	806,346	8,344,571	-401,650	7,942,921



3. 施設の提供等の物的サービスの受入の内訳

(単位：円)

内容	金額	算定方法
該当なし		

4. 使途等が制約された寄附金等の内訳

使途等が制約された寄附金等の内訳（正味財産の増減及び残高の状況）は以下の通りです。  
当法人の正味財産は 0 円ですが、その 0 円は、下記のように使途が特定されています。  
したがって使途が制約されていない正味財産は 0 円です。

(単位：円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
合計	0	0	0	0	

5. 固定資産の増減内訳

(単位：円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
工具器具備品	382,328			382,328	△147,703	234,625
無形固定資産						
電話加入権	42,840			42,840		42,840
投資その他の資産						
敷金	562,800			562,800		562,800
合計	987,968	0	0	987,968	△147,703	840,265

6. 借入金を増減内訳

(単位：円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
合計	0	0	0	0

7. 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

(単位：円)

科目	計算書類に計上された金額	内役員及び近親者との取引
(活動計算書)		
活動計算書計	0	0
(貸借対照表)		
貸借対照表計	0	0

8. その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項

- ・ 事業費と管理費の按分方法
  - ・ 収入に関して、年間登録料、賛助会費及び寄付金については使用割合によって、事業費（90%）、管理費（10%）に按分した。さらに事業費について心理社会的支援活動事業（60%）、技術的支援活動事業（10%）、普及啓発活動事業（20%）、調査研究及び情報交換事業（10%）に按分した。なお、収入のうち正会員費については100%管理費とした。
  - ・ 支出に関して、事業部門に直接関係する経費はその事業部門に配賦し、共通については以下の基準で按分した。地代家賃及び水道光熱費については、建物面積比によって事業費（90%）、管理費（10%）に按分した。また事業内の人件費及び共通の経費については、使用割合によって心理社会的支援活動事業（60%）、技術的支援活動事業（10%）、普及啓発活動事業（20%）、調査研究及び情報交換事業（10%）に按分した。
- ・ その他の事業に係る資産の状況  
該当なし

## 令和3年度 財産目録

特定非営利活動法人がんサポートコミュニティー

科	目	金額	小計	合計
<b>【A】</b>	<b>資産の部</b>			
1	<b>流動資産</b>			
	現金預金			
	手元現金	144,930		
	みずほ銀行 普通預金 赤坂支店	7,035,453		
	みずほ銀行 普通預金 神谷町支店	23,673,323		
	三井住友銀行 普通預金 赤坂支店	14,917,817		
	三菱東京UFJ銀行 普通預金 虎ノ門支店	16,036,480		
	郵便振替口座	2,461,073	64,269,076	
	<b>流動資産合計・・・①</b>			<b>64,269,076</b>
2	<b>固定資産</b>			
	(1) 有形固定資産			
	工具器具備品			
	空気清浄機	52,584		
	パソコン	182,041	234,625	
	(2) 無形固定資産			
	電話加入権			
	虎ノ門ガーデン事務所	42,840	42,840	
	(3) 投資その他の資産			
	敷金			
	虎ノ門ガーデン事務所	562,800	562,800	
	<b>固定資産合計・・・②</b>			<b>840,265</b>
	<b>【A】資産合計 ①+②</b>			<b>65,109,341</b>
<b>【B-1】</b>	<b>負債の部</b>			
1	<b>流動負債</b>			
	預り金		174,449	
	源泉徴収税	47,137		
	社会保険料	93,712		
	住民税	33,600		
	未払金		584,650	
	印刷代、動画等作成料	584,650		
	<b>流動負債合計・・・③</b>			<b>759,099</b>
2	<b>固定負債</b>			
	<b>固定負債合計・・・④</b>		0	0
	<b>【B-1】負債合計 ③+④</b>			<b>759,099</b>
	<b>【B-2】正味財産合計 【A】-【B-1】</b>			<b>64,350,242</b>

1

## 令和3年度年間役員名簿

（前事業年度において役員であったことがある全員の氏名及び住所又は居所並びにこれらの者についての前事業年度における報酬の有無を記載した名簿）

特定非営利活動法人がんサポートコミュニティー

## 1 確認事項（法第20条及び第21条を確認の上、チェックを入れてください。）

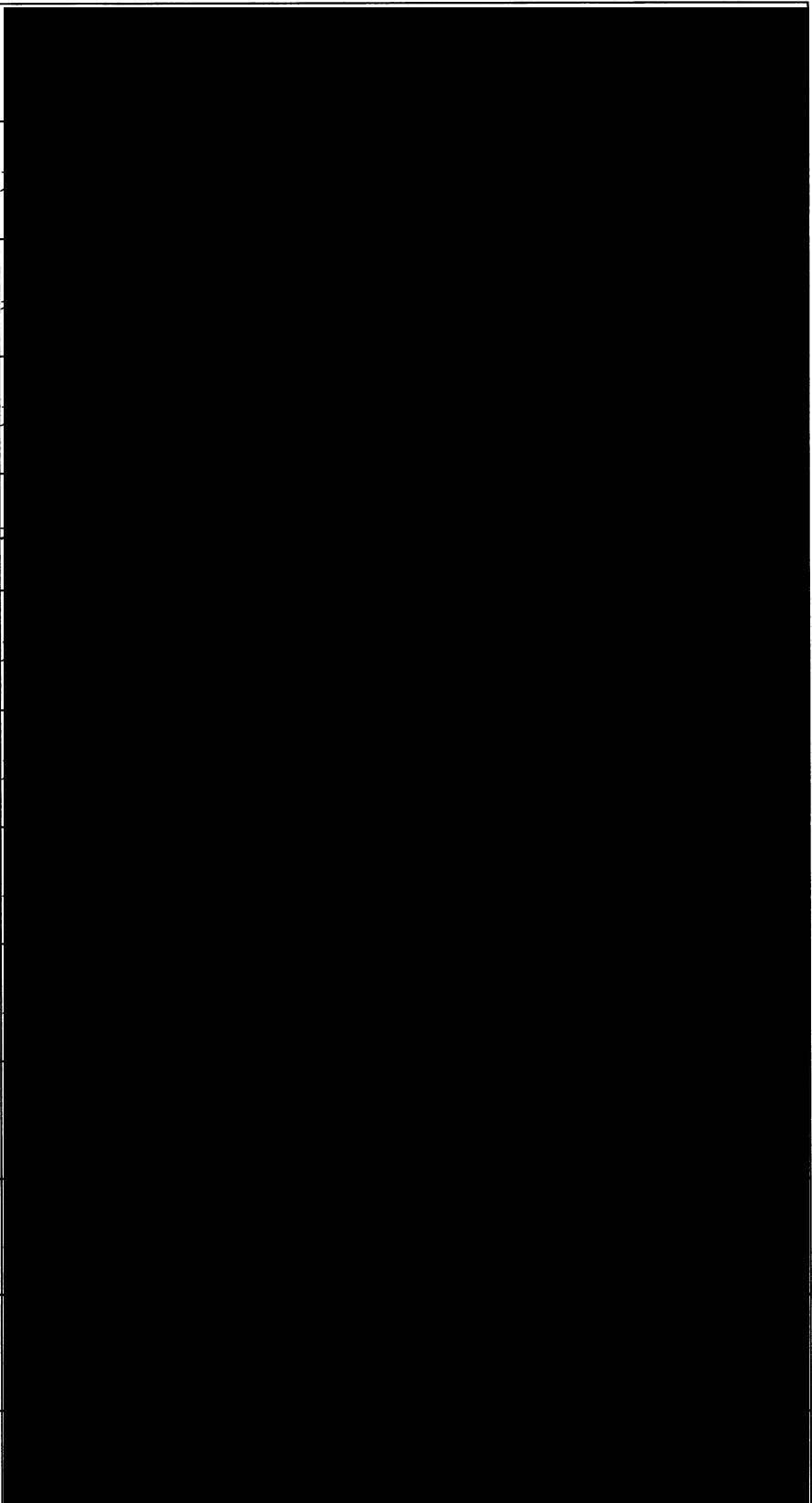
- 以下の役員には、欠格事由者が含まれません。（法第20条関係）
- 各役員について、親族の規定に違反していません。（法第21条関係）

## 2 役員一覧

	役名 どちらかに○	(フリガナ)		前事業年度内の 就任期間	報酬を受けた期間 (該当者のみに記入)
		氏名			
1	○(理事)・監事	アツミ	効キ	令和3年4月1日 ～ 令和4年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		渥美	隆之		
2	○(理事)・監事	エトウ	キミサ	令和3年4月1日 ～ 令和4年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		遠藤	公久		
3	○(理事)・監事	タカ	ヨシヒデ	令和3年4月1日 ～ 令和4年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		田中	義英		
4	○(理事)・監事	ナガミ	ユリコ	令和3年4月1日 ～ 令和4年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		中神	百合子		
5	○(理事)・監事	オハラ	ヒデキ	令和3年4月1日 ～ 令和4年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		奥原	秀盛		
6	○(理事)・監事	ナカガワ	ノブユキ	令和3年4月1日 ～ 令和3年8月6日	年 月 日 ～ 年 月 日
		中川	信幸		
7	○(理事)・監事	カタヤマ	カズヒロ	令和3年4月1日 ～ 令和4年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		片山	和宏		
8	理事・○(監事)	キノ	ヨシオ	令和3年4月1日 ～ 令和4年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		清野	吉雄		
9	理事・○(監事)	マツムラ	ユキオ	令和3年4月1日 ～ 令和4年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		松村	行雄		
10	理事・監事			年 月 日 ～ 年 月 日	年 月 日 ～ 年 月 日

## 社員名簿（社員のうち10人以上の者の名簿）

特定非営利活動法人がんサポートコミュニティー

	氏名	
1	渥美隆之	
2	片山和宏	
3	田中義英	
4	遠藤公久	
5	中神百合子	
6	奥原秀盛	
7	大井賢一	
8	田中マユミ	
9	佐藤衣	
10	内山由美	
11	清野吉雄	
12	松村行雄	